

横浜市就労訓練事業支援センター

Newsletter

Vol.20
2024年5月

発行責任者
横浜市就労訓練事業支援センター
所長 熊部良子
☎045-290-7239
✉ shien-center@youthport.jp

新年度のご挨拶

新緑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2023年度はコロナ禍が収束したものの、感染症対策には予断を許さない状況でした。そのような中、新規訓練の申し込みは35件と、2022年度より2件減少しましたが、コロナ前の新規申し込みレベルが定着しつつあります。訓練に参加された方の年代も、昨年度同様に30代が最も多く利用され、幅広い年代層に利用されています。

2024年度も一つ一つの就労訓練が有効なものとなるよう、丁寧なサポートに務めてまいります。

横浜市就労訓練事業支援センター
所長 熊部 良子

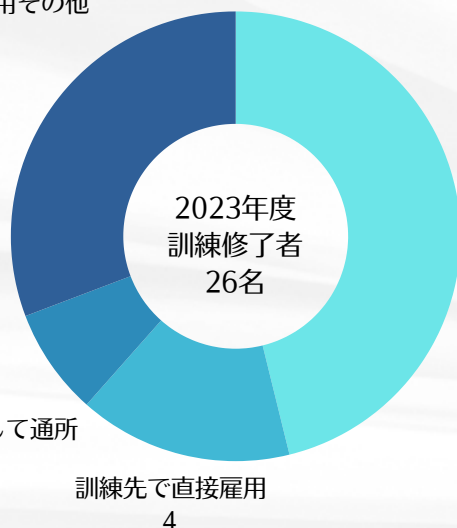


2023年度の利用実績

2022年度からの継続者13名、2023年度新規訓練開始者35名の方が訓練を実施しました。

訓練修了後の内訳

医療や福祉サービス活用その他
8



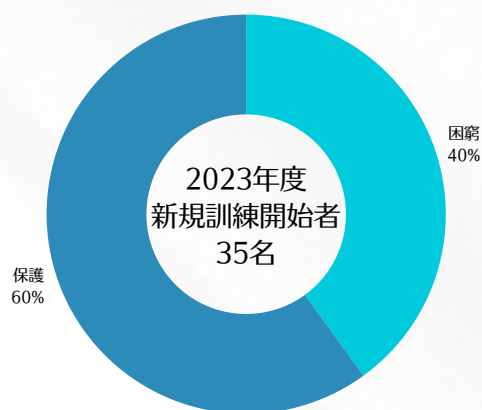
訓練の成果（一例）

- ・訓練先で認められ自信がついた
- ・生活リズムが整った
- ・体力がついた
- ・苦手な業務にも取り組めるようになった
- ・持病との付き合い方を理解できた
- ・コミュニケーションスキルが上がった
- ・自身の課題への理解が深まった
- ・就労への意欲が高まった

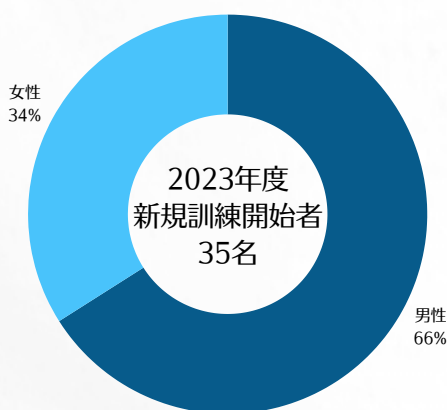
2023年度新規就労訓練開始者の詳細

2023年度の新規申し込み数は35名、新規訓練開始も35名で、すべて非雇用型で開始しました。
昨年と比較し、生活困窮者自立支援利用者が増加しました。(2022年度：困窮26%、保護74%)
男女比は昨年と比べ、女性の割合が微増でした。(2022年度：男性70%、女性30%)
年代別でみると、30代の利用者が最も多く、近年は若年層も含めて幅広い年齢層の方にご利用いただいています。

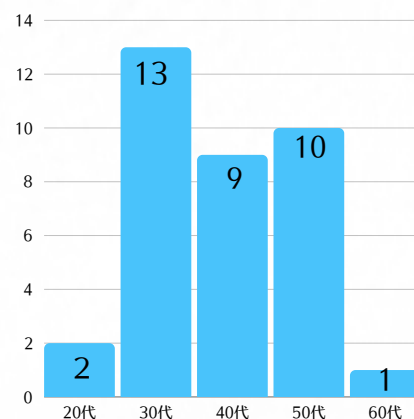
困窮と保護の割合



男女比

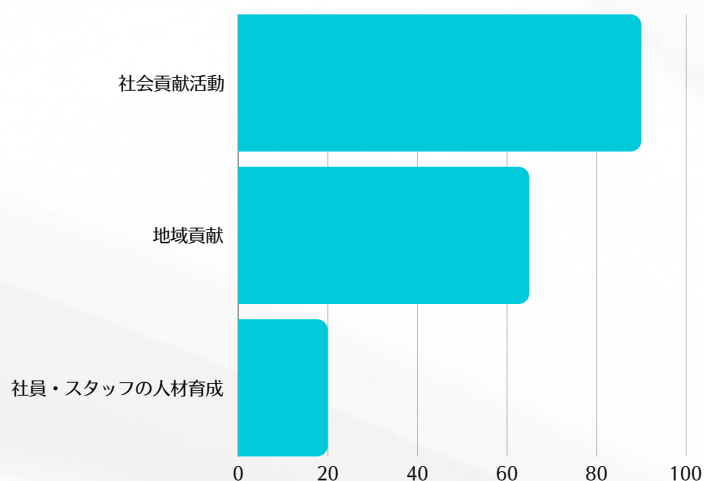


年代

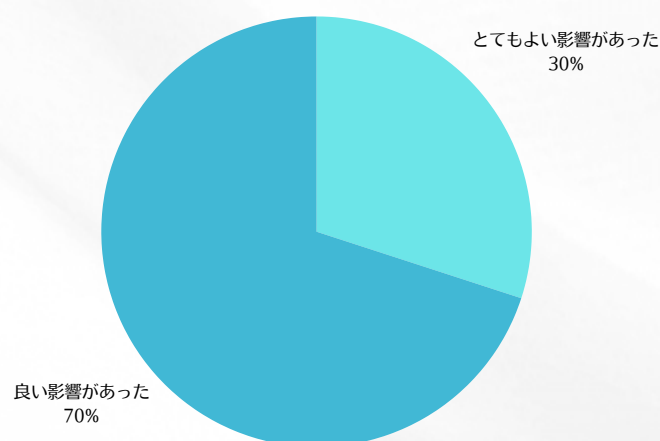


認定事業所への終了時アンケート結果 (回答数=20)

訓練受け入れの目的 (複数回答)



職場・スタッフへの影響



アンケートよりご紹介

「訓練生の存在が職場内に刺激をもたらし、活気を与える効果があった」

「職員が訓練事業について考えることで成長につながった」

「訓練生から新しい視点での質問などがあり、施設側の意識改善につながった」

「スタッフの社会貢献に対する理解が深まった」